

○第74回肥料・飼料等/第43回微生物・ウイルス合同専門調査会  
(薬剤耐性菌に関するWG)

日時：平成25年7月23日(火) 14:00~14:50

議事概要：

- ・鶏に使用するフルオロキノロン系抗菌性物質製剤に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について

審議の結果、

- 評価対象動物用医薬品が鶏に使用された結果としてハザードが選択され、鶏由来食品を介してヒトがハザードに暴露され、ヒト用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できず、リスクの程度は中程度であると考えられた。
- なお、薬剤耐性菌については、現時点では詳細な科学的知見や情報が必ずしも十分とはいえず、また、リスク評価の手法についても国際的にも十分確立されていないと考えられるため、国際機関における検討状況等を含め新たな科学的知見・情報の収集に努めるべきである。

とすることが了承され、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

\* 広範囲な抗菌活性を持っている抗菌性物質で、感染症の治療に使用されています。